



今井良一さん講演会

日時：2018年9月29日（土）午後3時

会場：神戸学生青年センター

テーマ：

「満洲農業開拓民一

『東亜農業のショウウィンドウ』建設の結末」

（今井さんが同名の本を2018年1月、三人社より出版されています。）

＜今井良一さんプロフィール＞

1972年神戸生まれ、2007年京都大学博士（農学）、現在、関西学院大学等の非常勤講師。専門は、近代日本農業史、環境問題、地理学。今井清一さんと『環境教育論』2014年6月も出されています。

＜以下、『満洲農業開拓民 「東亜農業のショウウィンドウ」建設の結末』序章より＞

満蒙開拓あるいは満洲開拓とは、当初は日本内地の過剰人口対策（貧農対策）、満洲の「治安」対策、そして対ソ防衛としての性格が強かった。特に「治安」対策・対ソ防衛の役割は終戦まで重視され、開拓民の5割が満洲国とソ連との国境沿いに、4割が、当時、「匪賊」であるとか「馬賊」とよばれた反満抗日部隊の活動地域に入植した。

その後、満蒙開拓の最大の目的は、次第に帝国圏（円ブロック）における食糧確保へと変化していくが、それはいずれにしても東アジア農業のモデル（＝「東亜農業のショウウィンドウ」）として、内地では到底望むことができなかった近代的大農業経営を、満洲の地に確立するという「大義名分」のもとに、「帝国」日本が威信をかけて取り組んだ国家的大プロジェクトであった。

農民であるはずなのに、その部分を抜きにして語られることも多い「満洲」農業開拓民であるが、はたして彼ら・彼女らは、理想とされた農業を営むことができたのであろうか。

参加費：500円

主催・問い合わせ先：神戸・南京をむすぶ会

（代表：宮内陽子、副代表：門永秀次、林伯耀、事務局長：飛田雄一）

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1 神戸学生青年センター内

TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

http://ksyc.jp/ e-mail hida@ksyc.jp

後援：神戸学生青年センター



＜新刊案内＞

飛田雄一

『時事エッセイ—コリア・コリアン・イルボン(日本)—』

（2018年5月 A4版 60頁 420円+税）

※購入希望者は、郵便振替<00930-6-310874

神戸・南京をむすぶ会>で420円をご送金ください。

送料はむすぶ会負担です。

